

科目ナンバー	SEM-3-003-ky			科目名	課題演習Ⅰ(内田)		
教員名	内田 直仁			開講年度学期	2020年度 前期	単位数	2
概要	「ビジネスアカウンティング」として、演習を展開する。会計は、帰納的学問と評されている。であるならば、会計自身が難しいのではなく、複雑化する社会を会計的にどう捉えるか難しいものと考えられる。このため、ビジネスの最前線のトレンドを取り上げ、会計的な捉え方や見方について研究を行い、その素養を身に着けることが、本演習の目的である。						
到達目標	①社会と会計の関連を理解できること②注目されているビジネスを会計視点で理解できること③会計視点でビジネスの問題点を指摘できること④上記の能力を担保する基礎学力として、簿記能力検定1級、コンピュータ会計実務検定1級、FP検定2級の取得をすることも目標とする						
「共愛12の力」との対応							
識見		自律する力		コミュニケーション力		問題に対応する力	
共生のための知識		自己を理解する力		伝え合う力		○	分析し、思考する力
共生のための態度		自己を抑制する力		協働する力		○	構想し、実行する力
グローバル・マインド		○	主体性	関係を構築する力			実践的スキル
教授法及び課題のフィードバック方法		概要や目標を達成するために、事例研究による演習を展開する。できる限り、フィールドワークを取り入れ、体感的な理解を目指す。会計のために社会があるのではなく、社会のために会計がある。このことを基本理念として、多くの社会事象を会計的に捉える習慣を身に付くよう、まず社会に目を向けることから始める。そのため、伝統的な会計学の手法に固執しない演習を展開する。会計は、社会をはかるモノサシのようなものとして、社会にどうあててのが有効か、またその限界の一端を肌で感じられるよう心掛ける。視察や資格取得のための補講が必要な場合は、時間割以外の時間帯での活動も行う。					
アクティブラーニング		○	サービ斯拉ーニング			課題解決型学修	○
受講条件 前提科目		簿記の基本が習得されていること。					
アセスメントポリシー及び評価方法		評価方法: 予備調査・前提資格の学習状況40%、テーマに関する成果60%前提科目: 簿記・会計関連科目					
教材		特になし					
参考図書		適宜指示する					
内容・スケジュール		①グループでの事例演習を基本とするため、その成果を高めるためのコミュニケーションゲームを行う。②十分にグループが馴染んだところで、対象とする事例を設定していく。その際には、進路傾向を含めたゼミの特性を勘案して行う。③事例が設定されたなら、事例やそれを理解するための情報収集や知識・技能習得に努める。学んでから問題を解くのではなく、問題を解くために学んでいく方式である。研究が机上化しないために、できる限りフィールドワークを行うが、基本的に土日や長期休暇で行うこととする。④事例分析の結果を自分の言葉でプレゼンテーションできるようにする。⑤演習の目標とする資格取得が不調な場合は、ゼミの時間や補講として、指導することもある。					

Number	SEM-3-003-ky	Subject	Junior Specialty Seminar I		
Name	内田 直仁 (Uchida Nahito)	Year and Semester	First semester for 2020	Credits	2
Course outline	0	The purpose of this practice is the account analysis of the business.			